

地域へ出て、考える力を。



地域実践 02



保健師教育課程 ～地域や企業・学校で活躍する看護職～

保健師は新型コロナウイルス感染症対策の第一線でも活躍しています。

保健師の仕事は、健康づくりを予防的な視点で担う裏方というイメージが強いかもしれませんが。しかし、新しい感染症が蔓延した際や大規模災害発生時など、人の心身の健康に多大な影響を与える可能性のある危機的状況では、表舞台でも大活躍します。例えば、不安を抱える住民の相談に応じたり、濃厚接触者の健康調査を行います。保健・医療の専門知識を持った保健師が、多職種と連携しながら健康に関する社会課題の解決を試みています。



保健師による健康チェック

[岐阜協立大学保健師教育課程の特徴]



POINT 01

選択制履修で、学年定員は20名です。
履修料の追加負担はありません。

さらなる学びで
活躍の場がもっと広がる!



POINT 02

選考の時期は、2年次後期修了後を予定しています。プレゼンテーションと面接と小論文及び、2年次後期までの成績が総合的に評価され、決定されます。



POINT 03

国家試験合格に向けてのサポートとして、模擬試験や特別講座を実施し、看護師と保健師の両方の現役合格に向けて全面的にサポートします。

[保健師とは]

保健師は、あらゆる人がそれぞれの健康状態に応じて、希望する生活を送ることができるよう保健活動を行う看護職のこと。予防的な視点から対象者を支援する役割を担っています。現在、日本で働く保健師の約8割は行政機関で活躍。勤続年数も長い傾向にあり、家事や育児、介護と両立するなど、ライフステージに合わせた働き方もしやすいのが特徴です。

[教育内容]

看護師の実践基礎能力の発展として、幅広い知識と技術を身につけたのち、県内の保健所や保健センターで実習を行います。すでに顕在化している問題だけでなく、今後表面化する恐れのある健康課題にも目を向け、根拠のある看護実践を展開。地域包括ケアシステムにおける支援者の中核となる保健師の役割も実践的に学びます。

[保健師教育課程を選択するために]

同時に看護師と保健師の国家試験にチャレンジすることになりますので、保健師を希望する動機、計画性と実行性、学修に対する積極性、十分な自己健康管理などが重要です。

[保健師教育課程を修了することで取得できる資格]

- 保健師国家試験受験資格
- 養護教諭二種免許状(保健師免許取得後、申請により取得可能)
- 第一種衛生管理者(保健師免許取得後、申請により取得可能)

保健師活躍の場

保健師の活動は、都道府県・市町村等の保健所・保健センター等で保健行政に従事する「行政保健師」や、企業の産業保健スタッフとして勤務する「産業保健師」、学校等で学生と教職員の心身の健康保持に努める学校保健など広がりがあります。

- 保健センター
- 保健所
- 事業所
- 病院・診療所等
- 地域包括支援センター
- 福祉施設
- 訪問看護ステーション
- 学校・大学等研究機関
- その他の団体など

